

科目名	病理学3 (概論)						年度	2026	
英語科目名	Pathology 3 (An outline)						学期	後期	
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	岡本純佳	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医師 (病院勤務医)		
【科目の目的】 病理学を習得して柔道整復師が現場での適切な施術を行う基盤をつくることを目的とする。									
【科目の概要】 炎症や腫瘍等の基礎知識を学びます。									
【到達目標】 病理学を学ぶことで日々進歩している医学・医療に対応できるように疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別、治療効果などについて理解することが必要である。医療現場における施術の土台を形成することを目標にしている。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	炎症の原因と形態学的変化について完全に理解している。	炎症の原因と形態学的変化について大体理解している。	炎症の原因と形態学的変化について部分的に理解している。	炎症の原因と形態学的変化についての理解がやや不足している。	炎症の原因と形態学的変化について理解していない。				
到達目標 B	炎症の分類について完全に理解している。	炎症の分類について大体理解している。	炎症の分類について部分的に理解している。	炎症の分類についての理解がやや不足している。	炎症の分類について理解していない。				
到達目標 C	免疫異常について完全に理解している。	免疫異常について大体理解している。	免疫異常について部分的に理解している。	免疫異常についての理解がやや不足している。	免疫異常について理解していない。				
到達目標 D	アレルギーについて完全に理解している。	アレルギーについて大体理解している。	アレルギーについて部分的に理解している。	アレルギーについての理解がやや不足している。	アレルギーについて理解していない。				
到達目標 E	腫瘍について完全に理解している。	腫瘍について大体理解している。	腫瘍について部分的に理解している。	腫瘍についての理解がやや不足している。	腫瘍について理解していない。				
【教科書】 教科書 (病理学-社団法人全国柔道整復学校協会監修-) に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		病理学3 (概論)			年度	2026
英語表記		Pathology 3 (An outline)			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	炎症①	炎症の一般について理解する。	1 炎症の概説	風邪・下痢・肺炎・口内炎・胃炎・虫垂炎などについて理解する。	3	
			2 炎症とは	臓器などに障害をもたらした刺激や侵襲に対する生体反応と障害組織の修復過程について理解する。		
			3 五大徴候	発赤・発熱・腫脹・疼痛・機能障害について理解する。		
2	炎症②	炎症の原因について理解する。	1 感染症	細菌とウイルスによる感染症が多いことを理解する。	3	
			2 物理的傷害	外傷・温熱や寒冷・放射線・電気刺激などについて理解する。		
			3 化学的傷害	強酸・強アルカリ・腐食毒などの化学的物質について理解する。		
3	炎症③	炎症の形態学的変化について理解する。	1 組織の傷害	実質炎について理解する。	3	
			2 循環障害および滲出	発赤・浮腫・浸潤・化膿について理解する。		
			3 組織増生	肉芽組織形成・線維化・瘢痕について理解する。		
4	炎症④	炎症の分類について理解する。	1 滲出性炎	代表例として化膿性炎による蜂巣(織)炎について理解する。	3	
			2 増殖性炎	代表例として間質性肺炎と肝硬変について理解する。		
			3 特異性炎	代表例として結核や梅毒について理解する。		
5	免疫異常、アレルギー①	免疫の仕組みと免疫不全について理解する。	1 免疫の仕組み	免疫反応が自然免疫と獲得免疫に大別されることについて理解する。	3	
			2 先天性免疫不全	患者が生後より感染を繰り返すことを理解する。		
			3 後天性免疫不全	後天的な原因により免疫機能が障害されることを理解する。		
6	免疫異常、アレルギー②	自己免疫疾患について理解する。	1 全身性エリテマトーデス	最も代表的な全身性の自己免疫疾患であることを理解する。	3	
			2 関節リウマチ	全身の関節をおかす慢性関節炎を特徴とする自己免疫疾患であることを理解する。		
			3 橋本病	甲状腺の自己免疫疾患であることを理解する。		
7	免疫異常、アレルギー③	アレルギーについて理解する。	1 アレルギーとは	免疫反応が生体に有害に、また組織傷害性に作用することを理解する。	3	
			2 アナフィラキシー型	局所反応として気管支喘息・花粉症・蕁麻疹について理解する。		
			3 細胞傷害型	代表例として不適合輸血による溶血性貧血について理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 炎症	五大徴候について理解する。	3	
			2 炎症の分類	滲出性炎・増殖性炎・特異性炎について理解する。		
			3 アレルギーの5型	I型～V型について理解する。		
9	免疫異常、アレルギー④	アレルギーの5型について理解する。	1 免疫複合型	代表例として血清病とIgA腎症について理解する。	3	
			2 遅延型	代表例としてツベルクリン反応について理解する。		
			3 刺激型反応	V型アレルギーを代表するバセドウ病について理解する。		
10	腫瘍①	概念・定義・肉眼的形態について理解する。	1 腫瘍の定義	コントロールされていない自律性の増殖について理解する。	3	
			2 腫瘍の外形と色調	拡張性増殖・浸潤性増殖・悪性黒色腫・褐色細胞腫について理解する。		
			3 腫瘍の硬さと二次変化	スキルス・髄様癌について理解する。		
11	腫瘍②	腫瘍の細胞・発育諸段階・生体への影響について理解する。	1 腫瘍細胞	腫瘍細胞の形態・細胞骨格・腫瘍マーカーについて理解する。	3	
			2 腫瘍の発生の機構	イニシエーション・プロモーション・プログレッションについて理解する。		
			3 腫瘍の増殖と進展	TNM分類について理解する。		
12	腫瘍③	発癌の原因・癌の診断と治療について理解する。	1 癌の外因	放射線・化学物質・ウイルスについて理解する。	3	
			2 癌の内因	遺伝要因・性・年齢・ホルモン・免疫・栄養について理解する。		
			3 癌の治療	手術療法・放射線療法・薬物療法について理解する。		
13	腫瘍④	分類・悪性腫瘍・主要な癌について理解する。	1 腫瘍の分類	良性腫瘍・悪性腫瘍について理解する。	3	
			2 悪性腫瘍の分類	上皮性・非上皮性について理解する。		
			3 主要な癌	肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・子宮癌・乳癌について理解する。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 アレルギーとは	免疫反応が生体に有害に、また組織傷害性に作用することを理解する。	3	
			2 腫瘍の定義	コントロールされていない自律性の増殖について理解する。		
			3 腫瘍の分類	良性腫瘍・悪性腫瘍について理解する。		
15	病理学3 (概論) のまとめ	後期病理学3 (概論) 全体の振り返り。	1 炎症	五大徴候について理解する。	3	
			2 アレルギーの5型	I型～V型について理解する。		
			3 悪性腫瘍の分類	上皮性・非上皮性について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、42. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等